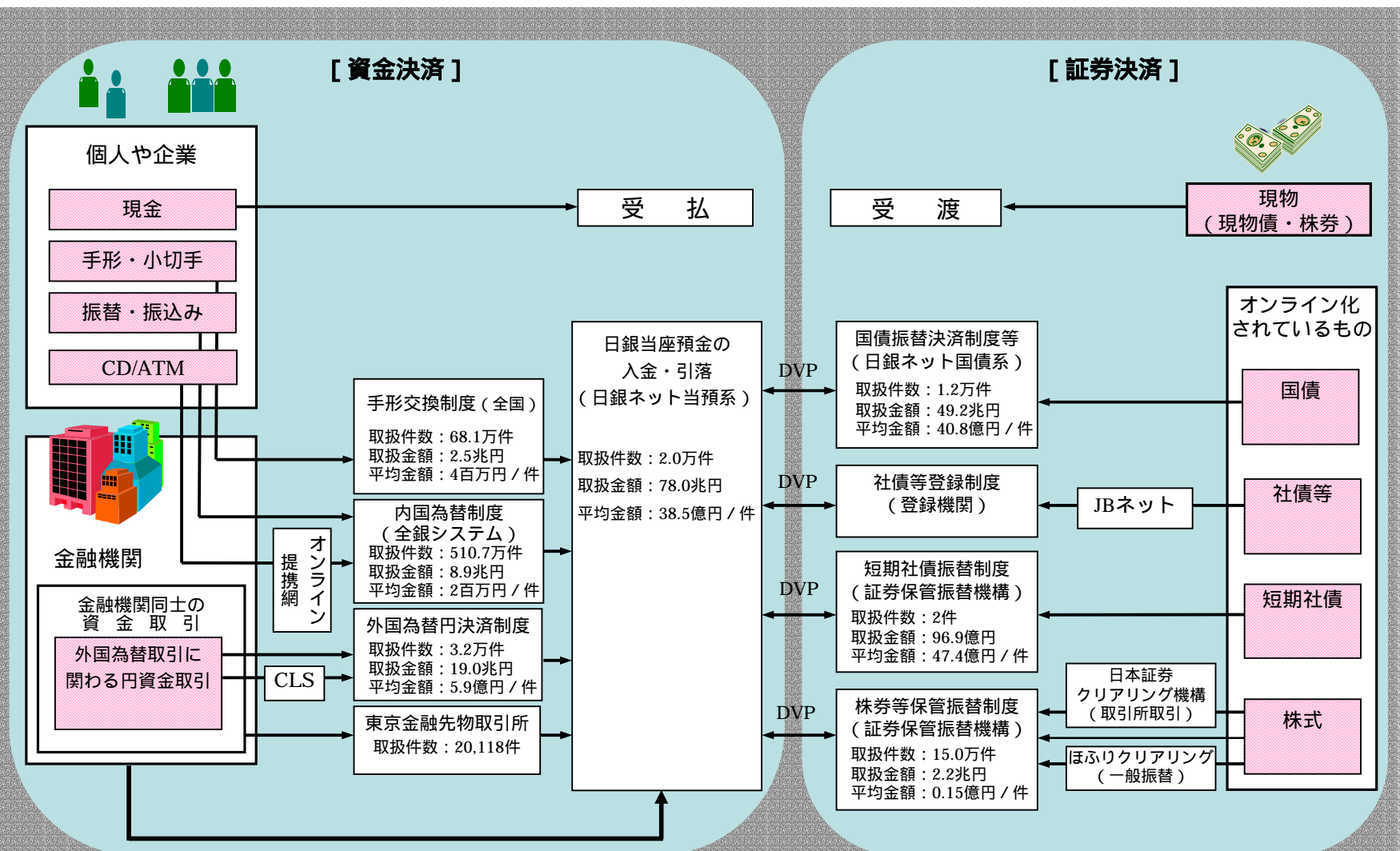


(図表1)

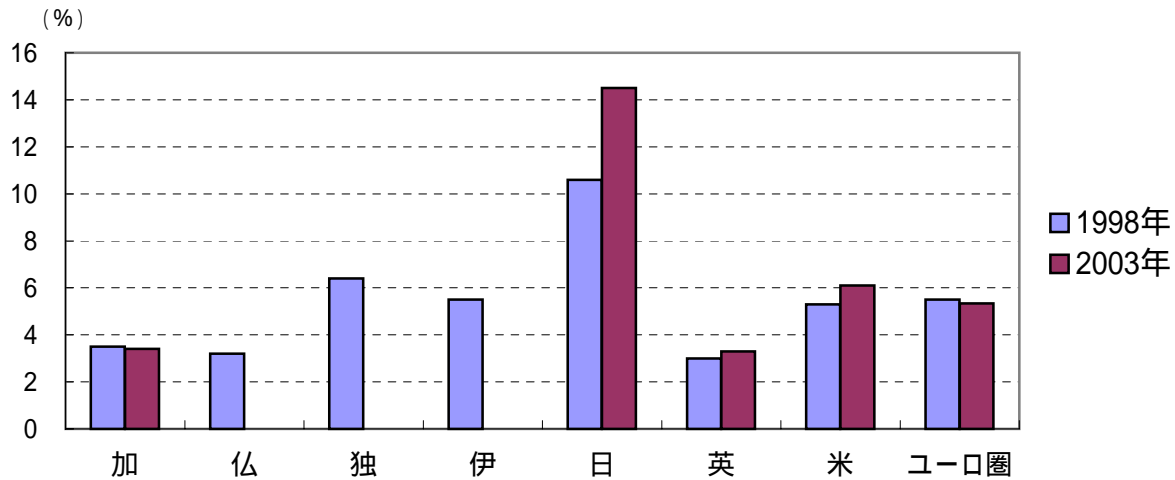
わが国の決済システムの概観図



(注) 取扱件数・金額、平均金額 (取扱件数1件あたりの取扱金額) は1営業日平均ベース (2003年度実績 <株式の取扱金額は推計>)。

(図表2)

主要国における通貨流通高の対名目GDP比率



- (注) 1. 通貨流通高 = 銀行券発行高 + 貨幣流通高、通貨保有主体(非金融法人、個人、地方公共団体等)の保有分。
 2. 仏、独、伊は、99年にユーロに通貨統合。98年のユーロ圏は、現ユーロ加盟国計。

(資料) 日本銀行「金融経済統計月報」

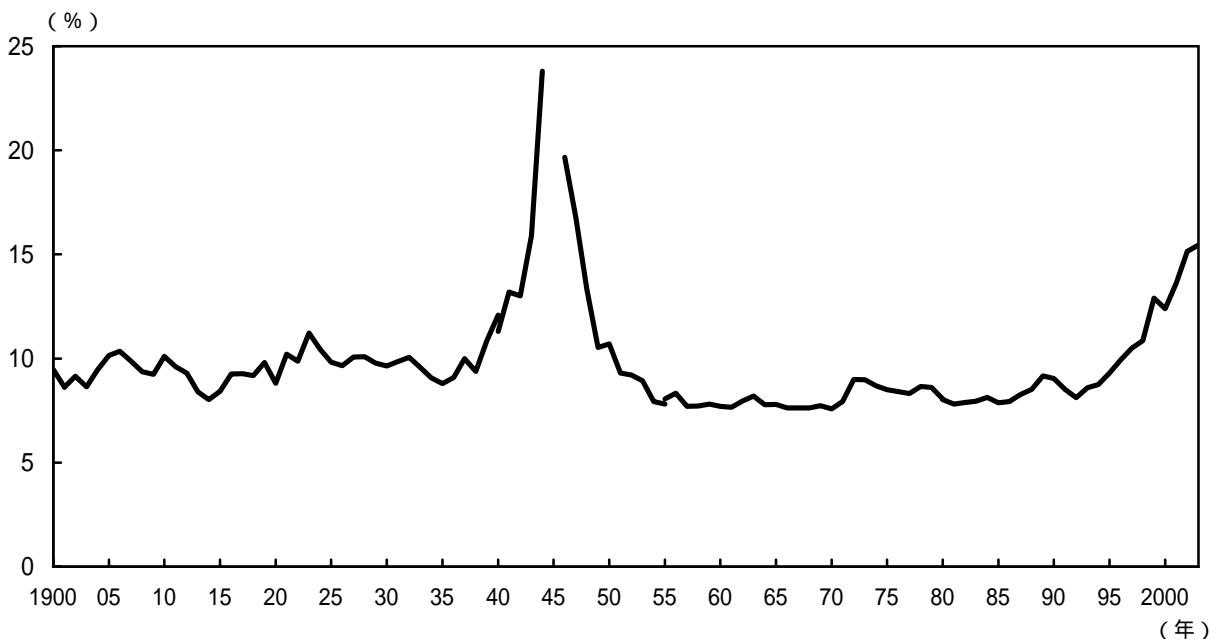
BIS, "Statistics on Payment and Settlement Systems in Selected Countries".

ECB, "Statistics Pocket Book".

ECB, "Blue Book: Payment and Securities Settlement Systems in the European Union".

(図表3)

わが国における銀行券発行高の対名目GDP比率の推移



- (注) 1. 年末残高ベースのデータをもとにそれ以前の計数を試算。1953年以前は「政府紙幣」を含む。
 2. 名目GDPについては、1955年以前は大川他『国民所得(長期経済統計1)』(東洋経済新報社、1974年)第1-A表の「粗国民支出(市場価格)」、1955~1980年は68SNAの国内総支出、1980年以降は93SNAの国内総支出を使用。なお1946~1951年は会計年度。

主要市場の1営業日平均外為取引高

単位:10億米ドル

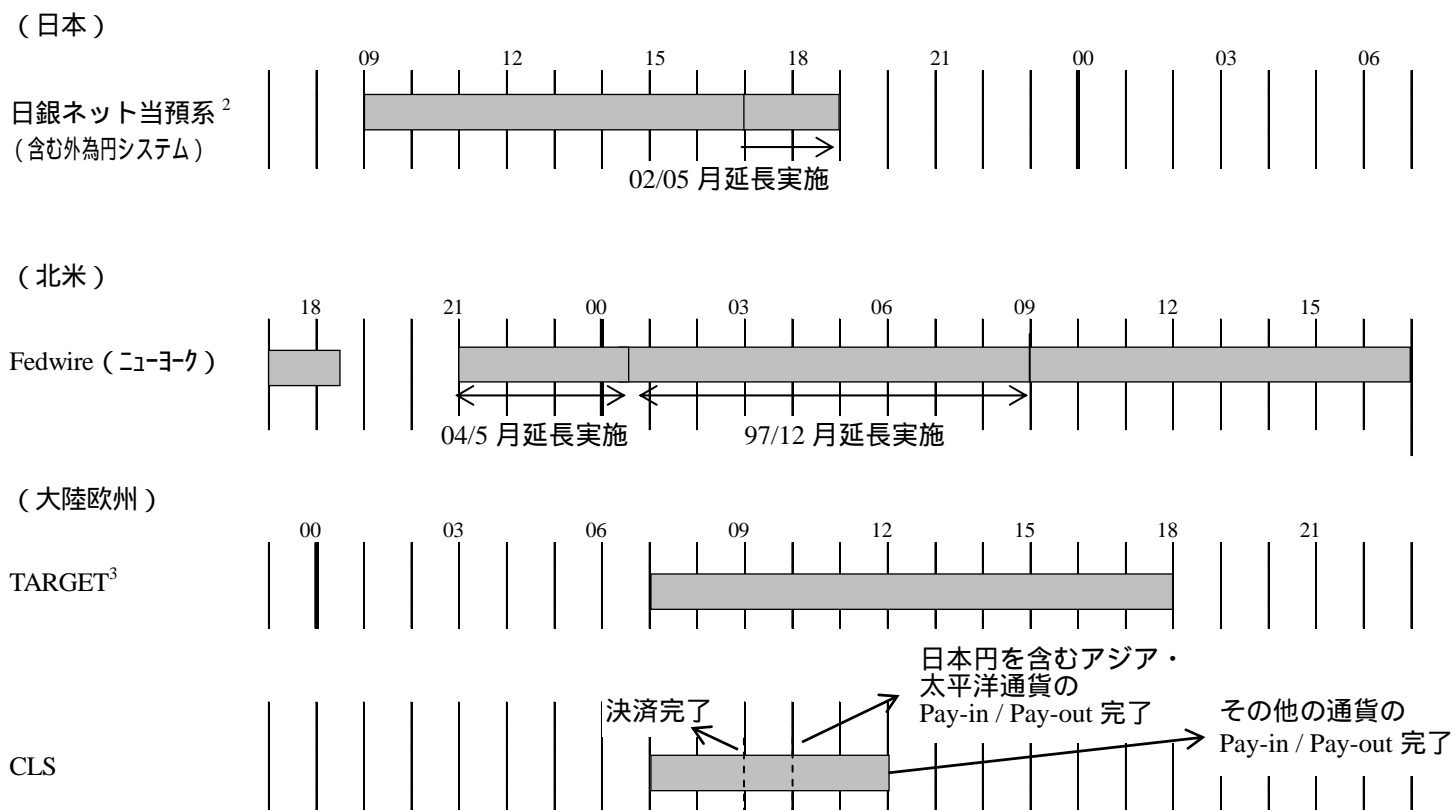
1998年		2001年		2004年	
英国	637 <32.5%>	英国	504 <31.2%>	英国	753 <31.3%>
米国	351 <17.9%>	米国	254 <15.7%>	米国	461 <19.2%>
シンガポール	139 <7.1%>	日本	147 <9.1%>	日本	199 <8.3%>
日本	136 <6.9%>	シンガポール	101 <6.2%>	シンガポール	125 <5.2%>
ドイツ	94 <4.8%>	ドイツ	88 <5.5%>	ドイツ	118 <4.9%>
スイス	82 <4.2%>	スイス	71 <4.4%>	香港	102 <4.2%>
香港	79 <4.0%>	香港	67 <4.1%>	オーストラリア	81 <3.4%>
フランス	72 <3.7%>	オーストラリア	52 <3.2%>	スイス	79 <3.3%>
オーストラリア	47 <2.4%>	フランス	48 <3.0%>	フランス	64 <2.7%>
オランダ	41 <2.1%>	カナダ	42 <2.6%>	カナダ	54 <2.2%>
グローバルベース	1,490	グローバルベース	1,200	グローバルベース	1,880

(注)1. <>内はシェア

(注)2. 各国市場は国内分の二重計上を調整、グローバルベースは国内・海外分の二重計上を調整しているため、各国市場の合計はグローバルベースに一致しない。

(資料) BIS「外国為替およびデリバティブに関する中央銀行サーベイ」

日・米・欧の RTGS システムの稼働時間と CLS の決済時間¹



¹ 大陸欧州冬時間 (10 月下旬 ~ 3 月下旬) について表示。

² 日銀ネット当預系の延長時間帯 (17 時 ~ 19 時) は、本店管下の当預オンライン取引先のうち希望する先が利用可能。

³ 統一通貨ユーロの決済システム (99/1 月稼働開始)。

本日の講演における主な専門用語の解説

時点ネット決済

決済機関が、参加者間の決済を毎日決まった時刻にまとめて行うこと。具体的には、各参加者について受取総額と支払総額の差額を入金・引落しする形で決済する方法がとられる。

RTGS

中央銀行が口座振替の形で銀行間決済を行うとき、振替指図(さしず)を受付けた中央銀行が直ちに(=リアルタイム)、他の振替指図と差引きしたりせず1件ごとに(=グロス)決済する(=セトLEMENT)方式のこと。英文 Real Time Gross Settlementの頭文字をとって RTGS と呼び慣わしている。振替指図を他の振替指図と合算したり差引き計算する時点決済と異なり、RTGS においては1件の支払不能が他の全ての決済を止めてしまうことがなく、しかも日中次々と決済が完了していくことから、安全な決済方法として各国の中央銀行によって採用されている。

PVP

Payment Versus Payment の略称。外国為替取引の決済において2つの通貨を同時交換の形で受渡すこと。両通貨の振替を相互に条件付けて実行する(受取る予定の通貨が実際に受け取れる場合に限り、自らが支払う予定の通貨が相手に振替えられる)ことによって、当該外為取引を決済する両当事者がいずれも、「払ったのに受取れない」状態に陥り損失を被るリスクを削減する仕組み。

DVP

Delivery Versus Payment の略称。証券決済における証券引渡し(delivery:売り方から買方への証券の受渡)と代金の支払い(payment:買方から売り方への資金の受払)を相互に条件付けて、「証券を引渡したにも拘わらず代金が受取れない」とか「代金を支払ったにも拘わらず証券を受取れない」という事態を回避する仕組み。

STP

Straight Through Processing の略称。取引の約定から決済までの一連の事務を処理する各々のコンピュータをネットワークを用いて接続し、その間で直接データを受け渡しすることにより、約定から決済までの一連の処理を、人手を介することなく、効率的かつ安全に行う仕組み。

以上